

目次

卷頭言

「移行する大衆演劇～人々の記憶の現像と制度の再建～ 移轉的大衆戲劇：民眾記憶的顯影與體制的重建」論文集

プログラム・・・ 1

【講演】

岡崎哲也・・ 5
伝統演劇である「歌舞伎」を、民間企業、松竹がいかに関しつて125年経営し続けてきたか。
それを可能にしたものは何か。

【論文】 ※シンポジウム発表順

輪島裕介・・ 13

「道頓堀ジャズ」から「ドドンパ」へ：貫戦期大阪の歌と踊り

後藤隆基・・ 30

関西新派と静間小次郎——20世紀初頭の京都劇壇における革新性と大衆性

宮 信明・・ 52

吉本の興行〈戦略〉——創業から大合同までを中心に

徐 亜湘・・ 76

新劇中興之後：上海笑舞台的新劇演出及其時代意義分析（1915-1929）

新劇の活況が残したもの—上海笑舞台の新劇公演とその時代的な意義の分析
（1915-1929）

羅 仕龍・・ 122

摩登的末世感？——1940年代上海大衆戲劇裡的機器人與未來想像

モダンな終末感？——1940年代上海大衆演劇におけるロボットと未來像

林 乃文・・ 157

「抒情傳統」與「現代性感知」的交錯敘事：以上海文明戲《空谷蘭》為例

「抒情の傳統」と「現代的知覺」の交錯するナラティブ——『空谷蘭』を例として

藤崎 景・・ 201

新派における「探偵劇」上演とそのメロドラマ性についての試論

松本俊樹・・ 217

戦間期と戦時下宝塚（国民座／歌劇）における楠木正成表象の相違—堀正旗『大楠公』（1929）『桜井の駅』（1944）を例に—

洪 栄林・・ 232

韓國大學路 openrun 演出的形成與生存模式

韩国大学路におけるオープンラン公演の形成と継続モデル

海 震	259
傳説、記録、記憶及追憶：「伶界大王」譚鑫培唱腔的「物質化」及「經典化」	
伝説、記録、記憶と追憶：「伶界大王」譚鑫培、唱腔の「実体化」と「經典化」	
簡 秀珍	297
穿越邊界的演藝流動—以天勝一座帶回日本本土與自外地來團的表演者為討論中心	
演芸の越境的流動：天勝一座が日本に連れ帰った外国人パフォーマーを中心に	
中野正昭	357
俠客と女劍劇——籠寅興行部と大江美智子一座にみる大衆演劇の興行展開——	
王 樂水	375
東京娛樂市場的演出公司研究（1934-1945）—松竹和東寶的戲劇演出為中心—	
東京興行界における興行会社研究（1934-1945）—松竹と東寶の演劇興行を中心に—	
細井尚子	445
演劇の2タイプから見る日本の娛樂市場における「西洋」受容	
劉 建幗	465
編導奇巧劇團《鞍馬天狗》之大眾元素運用	
奇巧劇團『鞍馬天狗』の脚本・演出におけるポップカルチャー要素の運用	
程 筱媛	513
共構通俗文藝市場：從小說、電影到京劇連臺本戲《火燒紅蓮寺》	
通俗文芸市場の共同構築：小説、映画から京劇の連台本戲『火燒紅蓮寺』まで	
洪 唯薇	563
從輿論場到演出場—淺析 1940 年代的申曲改良（以文濱劇團為例）	
言論の場から表現の場へ—1940年代の申曲の改良に関する初歩的分析（文濱劇団を例として）	
執筆者・翻譯者一覽	611